

## 前回の廃棄物部会における委員意見への対応について

委員意見要旨	対応状況
新型コロナウイルスの影響で、医療系廃プラスチックはどのくらい増えているのか。	感染性廃棄物の多量排出事業者の実績報告書をもとに、経年比較を実施した。2020年度は前年度比3%の増である。
医療系廃プラスチックの削減について、国は指標を示しているのか。 処理計画の中にどう盛り込むのか。	現時点では、環境省から医療系廃プラスチックの削減に関する指標は示されておらず、計画に指標として反映させるのは困難である。 現況把握ができている2019年度実績をもとに、2026年度までの目標値を設定することとし、今後の国の動向を踏まえ柔軟に対応することとしたい。